

報

なすからすやま

No.138

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

ありがとうキ/A40形.....	2
女性消防団員募集中.....	6
元氣あつぷ市民のつどい他、講演会等.....	8
文化財めぐり.....	10
まちのわだい.....	12
インフォメーション.....	14
シリーズ 鳥山高校ってこんなところ！... ..	16



2017
March
3

ありがとうキ/A40形(にこにこ保育園にて)

ありがとう

鳥山線 気動車 キハ40形

～38年間の運行を引退。アキュムにバトンタッチ～

JR東日本による3月のダイヤ改正に併せて、JR鳥山線(以下、「鳥山線」と表記)のすべての車両が、蓄電池を搭載したEV-E301系電車「ACCUM(アキュム)」に切り替わり、「キハ40形気動車(以下、「キハ40形」と表記)」が、3月3日(金)の運行を最後に地域住民や鉄道ファンに惜しまれながら引退しました。

鳥山線沿線では、2月18日(土)から引退日までの約2週間、JR東日本と市による「キハ40形」への感謝の気持ちを込めた様々な「引退イベント」が繰り広げられました。

今月号の「広報なすからすやま」では、引退イベントの様子や、これまでのキハ40形の歴史を紹介します。



**動力源はディーゼルエンジン
鳥山線の運行を担った関東最後のキハ40形**

キハ40形が初めて鳥山線にやってきたのは、昭和54年6月。それまで運行していたキハ10・11形に代わって高根沢町の宝積寺駅から那須烏山市の鳥山駅までの約20・4 kmを結ぶ運行を38年間任されてきました。

キハ40形とは、昭和52年に登場したディーゼルエンジンを動力源とするキハ40系気動車の車両の一つ。40形の他に、47・48形があり、登場当時は、800両以上が製造され、全国の非電化区間に導入されました。しか



①引退記念のオリジナルヘッドマークをつけて走る3両編成のキハ40形 ②メッセージボードにはたくさんのメッセージでいっぱい ③鳥山駅に到着したキハ40形を出迎える地域住民たち ④オカリナサークル「あんだんて」によるオカリナの演奏。



し、製造から30年以上経ち、車両の老朽化などから各地で徐々に新型車両へと切り替えられた結果、宇都宮運転所に配置されている烏山線の全8両は、「関東最後のキハ40形」となり、貴重な存在でもありました。

また、路線に「宝積寺駅」や「大金

さようなら。そして、ありがとう。

感謝の気持ちを伝えた引退イベント

見送りイベントが行われた3月3日(金)午後4時38分。引退記念のオリジナルヘッドマークを付けたキハ40形は、警笛の合図とともに烏山駅を出発しました。烏山駅には、駅社員や市関係者のほか、地域住民や鉄道ファンなど約1千人が集まり、「ありがとう」と書かれた小旗を手に出発を見届けました。沿線にも、最後の運行を写真に収めようと大勢のカメラマンが押し寄せました。

烏山駅前では、同日、引退イベントとして、「烏山駅前マルシェ」が開催され、個数限定の記念弁当や特産品の販売、市内で活動するオカリナサークル「あんだんて」によるオカリナの演奏が行われ、美しいメロデーが奏でられました。

また、2月18日(土)からは、主要各駅で、沿線の幼稚園・保育園の園児が描

駅」といった縁起の良いとされる名称の駅があることから、「七福神」になぞらえて、沿線各駅とキハ40形の車両には七福神のイラストが描かれ、「七福神列車」という愛称で地域住民や鉄道ファンに親しまれてきました。



各駅から乗車した七福神たち。

いたキハ40形の塗り絵や、沿線で撮影されたキハ40形の写真の展示のほか、メッセージボードが設置され、大勢の人がキハ40形へ感謝の気持ちを書き入れました。

そのほか、「記念入場券」が限定で販売されるなど、様々な引退イベントが行われました。

■JR烏山線とキハ40形の歴史

- 大正12年 4月15日、宝積寺ー烏山駅間20.4キロで開通。烏宝線と呼ばれた。熱田・大金・烏山の各駅が営業開始し、1日の運転は、7往復。
- 大正13年 熱田駅の駅名を現在の「仁井田駅」に改称。
- 昭和9年 蒸気機関車から気動車に切り替え、運転本数を1日10往復に増便。うち6往復は宇都宮駅まで延長運転。下野花岡、鴻野山、小埜の各駅を新設し、名称も「烏山線」に改めた。
- 昭和18年 太平洋戦争により気動車運転を廃止。当時は新鋭機関車だったC12型タンク機が牽引した。
- 昭和21年 石炭事情悪化のため4往復となる。
- 昭和26年 気動車運転再開。
- 昭和29年 滝駅を開設。
- 昭和32年 新型気動車「キハ10形・キハ11形」導入。車両はすべてディーゼル車となる。
- 昭和43年 国鉄が合理化により烏山線・真岡線・足尾線を含む赤字83線の廃止検討を表明。この廃止問題が大きくクローズアップされた翌44年、廃止反対運動により乗車人数は前年から80%増となりピークを迎える。
- 昭和46年 大金駅貨物取り扱いの無人化、昼間の宇都宮乗り入れ廃止などの合理化案提示
- 昭和48年 国鉄烏山線開通50周年を迎える。烏山駅前広場を舗装し自転車置き場を設置。
- 昭和50年 大金ー宝積寺駅切符ブーム到来。切符、入場券あわせて22万枚が売れる。
- 昭和52年 朝・夕の通勤、通学のメイン列車2本が禁煙列車となる。信号がランプ式に切り替えとなる。
- 昭和54年 新型気動車「キハ40形」導入。貨物取扱廃止。ミステリー列車「銀河鉄道スリーナイン」がやってくる。
- 昭和62年 民営分割により4月、東日本旅客株式会社となる。烏山駅は駅長を入れて4人体制。
- 平成2年 下野花岡駅の呼称を「しもづけはなおか」から「しもつけはなおか」に変更。
- 平成5年 「七福神列車」として、各駅を七福神と結びつけイラスト化し、列車7両にシール、駅構内と入り口に標板を設置。
- 平成15年 8月、「烏山線っこ号」が初運行。
- 平成18年 7月、「烏山山あげ祭り号」が初運行。
- 平成19年 10月、宝積寺駅橋上駅舎の使用を開始。
- 平成23年 烏山線全線開業88周年を迎える。
- 平成25年 烏山線全線開業90周年を迎える。
- 平成26年 3月15日、国内初となる蓄電池を搭載したEV-E301系電車「ACCUM(アキュム)」を導入。アキュムの運転は1日3往復。初運行を記念し、烏山駅前では、「春の山あげ祭」開催。
- 平成27年 8月、「風っこ烏山号」に合わせ、日が暮れてから走る「風っこ夕涼み号」を初運行。9月、アキュムに鉄道友の会よりローレル賞が贈られる。
- 平成29年 1月、石炭ストーブを活用した「風っこストーブ号」が初運行。3月3日、「キハ40形」廃止。4日からすべての運転がアキュムに。

アキュム歓迎イベント(平成26年3月15日)。



ダイヤ改正後、上下線28便すべてが蓄電池駆動電車「アキュム」に

キハ40形の後を任されたEV-E301系電車「ACCUM(アキュム)」は、平成26年3月に国内初の蓄電池駆動電車として烏山線での運行を開始。キハ40形が引退するまでの2年間は、宇都宮ー烏山駅間を2往復、宝積寺ー烏山駅間を1往復の1日3往復6便が運行していました。また、運行開始と同時に、沿線の烏山駅、大金駅、仁井田駅などがリニューアルされ、注目を浴びました。アキュムは、電化されている宇都宮線の宇都宮ー宝積寺駅間の走行

中や終着駅の烏山駅で充電し、非電化区間の宝積寺ー烏山駅間は蓄電池で走ります。ディーゼル車と比べると二酸化炭素排出量を大幅に削減でき、騒音や振動も小さいことが特徴です。今回のダイヤ改正では、2両1編成で運行していたアキュムを2両4編成に増やしたほか、烏山線の上下線28本はすべてアキュムの運行となることに伴いダイヤが改正され、宇都宮線に直通する上り電車が1便増便されました。

—— ダイヤが一部改正されました ——

◇宇都宮駅始発終着の変更

	現行		改正後	
	発駅時刻	着駅時刻	発駅時刻	着駅時刻
下り	宝積寺 6:33	烏山 7:08	宇都宮 6:17	烏山 7:09
	宝積寺 20:47	烏山 21:22	宇都宮 20:37	烏山 21:27
上り	烏山 18:35	宝積寺 19:16	烏山 18:34	宇都宮 19:28
	烏山 19:28	宝積寺 20:09	烏山 19:48	宇都宮 20:52
	烏山 20:49	宝積寺 21:31	烏山 20:55	宇都宮 21:53

◇宝積寺駅始発終着の変更

	現行		改正後	
	発駅時刻	着駅時刻	発駅時刻	着駅時刻
下り	宇都宮 17:15	烏山 18:10	宝積寺 17:32	烏山 18:06
	宇都宮 18:15	烏山 19:07	宝積寺 18:31	烏山 19:05
上り	烏山 16:38	宇都宮 17:36	烏山 16:38	宝積寺 17:17
	烏山 17:37	宇都宮 18:33	烏山 17:35	宝積寺 18:15

キハ40形 フォトメモリー

○昭和54年6月2日
キハ10形に代わり、キハ40形が烏山線に乗り入れ開始。各駅では、大勢の地域住民がキハ40形を歓迎した。



○平成5年7月24日
JR烏山線が「七福神列車」の愛称が付けられる。烏山駅では、出発式が行われた。



○平成9年冬
大雪に見舞われる。雪化粧したまちなかをキハ40形が走り抜ける。



○平成16年5月
通学時間帯の朝の車内。制服を着た学生たちでいっぱい…。



○平成25年9月
秋の風物詩ともいえる「ハザ掛け」が行われる中、風っこ号を牽引して走るキハ40形。



○平成25年4月
ツツジが咲き誇る春。龍門の滝の上を走行。



○平成28年8月
小埜のヒマワリ畑の中を走るキハ40形。沿線には連日、大勢のカメラマンが殺到。

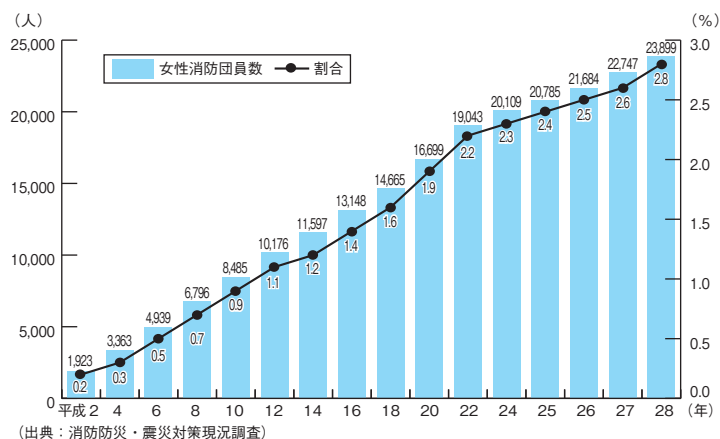
通勤や通学、市民の足となったキハ40形…
私たちにいろんな顔を見せてくれました。

いま、地域の防災に あなたのチカラが必要です！

いま、全国で女性の消防団員が活躍しています。全国的に消防団員の減少と地域防災力の低下が危ぶまれる中、女性消防団員は年々増加しています。平常時の防災に関する広報活動や指導に加えて、有事の際の消火活動や救護隊への参加など活動の幅もどんどん広がっています。

自分たちの地域は自分たちで守る。このページでは、地域の防災活動に積極的に参加する女性たちの活動を紹介します。あなたも、女性消防団に入団してみませんか？

表 全国の女性消防団員数の推移



住民の安全・安心を守る 女性消防団が増えています！

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。常勤で消防業務に専念する消防団員に対し、消防団員は個々の職業などに就きながら、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。

近年は、女性の消防団への参加も増加し、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及・啓発指導など、消火活動以外にも活躍しています。

全国的に見ると、消防団員数が減少する一方で、女性消防団員数は年々増加し、平成28年4月1日現在、2万3899人(全体の2.8%)、女性消防団員を採用する消防団は1

480団(全体の66.9%)に及んでいます(上記表参照)。

市女性消防団が発足して6年 消火活動・心のケアで地域見守り

那須烏山市女性消防団は、平成22年4月に発足しました。現在、19人の団員が所属し、消火活動や訓練、防災・減災の啓発、広報・救護活動をしています。

平成23年に行われた第20回全国女性消防操法大会では、動作や礼式の練習を重ね、発足2年目にして第5位入賞。個人賞を受賞した団員もいました。2年に一度の市消防操法大会では、小型ポンプの部に出場。平成26年度には、19チーム中、第4位と男性団員に劣らない操法を披露しました。

火災現場では、消火活動のサポートや交通整理などを行います。また、いつでも戦力となるように、消防署での定期的な訓練も欠かしません。

さらに、女性消防団は、消火活動以外に、「心のケア」として地域の見守りや救護活動等の一翼を担っています。また、消防署の指導のもと、応急手当普及員の資格を取得し、各地区で開催される防災訓練では、AEDを使った心肺蘇生法講習のサポート、救護

所でのケガの処置などを行う他、毎年、那須烏山消防署と協力し、市内のひとり暮らし高齢者の自宅を訪問するなど防火指導を行っています(※1高齢者防火指導記事)。

あなたも 活動してみませんか？

まだまだ女性消防団の活動に対する認知度は低い傾向にあります。しかし、これから高齢化がさらに進み、一人暮らしの高齢者が点在する山間地域には、女性消防団ならではの視点による「心のケア」が必要となってきました。

災害はいつどこで起こるか分かりませんが、平常時から防災意識を持ち、市民の安全と安心を守るため、消防団に入団しませんか。皆さんにもできることがきっと見つかるはずです。

■入団資格

○18歳以上で那須烏山市内に居住、または勤務している人

○心身ともに健康である人

■入団問合せ

那須烏山市総務課危機管理グループ

☎0287-83-1117

※または地元の消防団員まで

※1

消防署員と女性消防団が高齢者宅で防火指導

南那須地区広域行政事務組合消防本部では、1月から2月頃にかけて、市内の一人暮らし高齢者の自宅695件を訪問し、防火指導を行いました。

4年前から市の女性消防団も参加し、住宅用火災警報器の設置状況や火元の確認、高齢者の健康状態などを確認しました。



防火指導をする消防署員と女性消防団。



市消防操法大会で小型ポンプの操法をする女性消防団の皆さん。



子どもたちに応急手当の方法を紹介。



避難訓練で心肺蘇生法を指導。

女性消防団として活躍する2人におはなしをうかがいました



入団8年目
飲食店経営
伴野貴子さん
(中央1丁目)

自分の身を守るのは当たり前。自分も誰かを守れるように。

もし、大きな災害が起きたときに男性がいなかったら私たち女性には何ができるか?常にそんなことを考えながら活動しています。火災現場では、交通整理や近隣住民の心のケア、消火活動をする男性消防団のサポートなど、「何かできること」を見つけて行動しています。もちろん、いざというときには、消火活動もできるように放水の練習、機械器具の取り扱いや点検も日頃から行っています。とはいえ、結婚や出産、子育て…と、なかなか活動に時間がとりづら

いこともあります。「無理なく自分のペースで!」が私たち消防団の共通理解です。

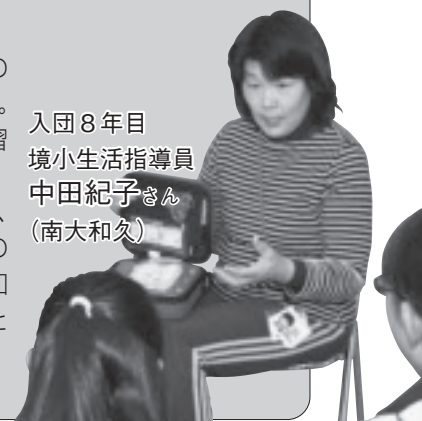
これからは、自分の身だけでなく、「何か手伝えることがありますか?」と誰かを守れるような女性が増えていくことが必要だと思うし、これが災害に強いまちづくりへの一歩なのではないかと思います。

心のケアや応急処置、たくさんの人に広めたい

私は、主に広報活動を軸に地域の見守りや救護活動を行っています。団員の中には、現役の看護師がいて、ケガの手当や包帯法、熱中症の対応等の指導を受け知識を身に付けています。また、応急手当普及員の資格を取得し、各地区の防災訓練では、AEDを使った心肺蘇生法講習のサポートなどを担当しています。

東日本大震災発生時には、女性消防団の組織がすでにできていたので、すぐに対応ができ、改めて組織の大切さを感じました。「消防団＝消火活動」ではありません。災害時の地域住民の「心のケア」や「応急処置」など、女性なりにできることがたくさんあります。非常時に役立つ知識を身につけるためにも仲間が一人でも増えたらいいなと思います。また、これからの活動として、子どもたちにもケガの処置など積極的に広めていきたいと思っています。

入団8年目
境小生活指導員
中田紀子さん
(南大和久)



高齢者の生きがいと活躍の場

シルバー人材センターが10周年

那須烏山市シルバー人材センター（小森照男理事長）の合併10周年を記念し、1月27日（金）、南那須公民館で「合併10周年記念式典」が開かれ、シルバー会員など約100人が参加しました。

同センターは、平成17年10月の那須烏山市誕生に伴い、翌年4月に旧2町のシルバー人材センターが合併し、設置されました。平成27年度末の会員数は171人。屋内外清掃や草刈り、庭木の手入れ、水



道検針など個人・企業・公共団体から様々な仕事を受託し、活動しています。今年度からは、社会問題にもなっている空き家・空き地の増加に対応するため、「空き家・空き地管理事業」を立ち上げるなど新たな活動も展開しています。

式典当日には、永年にわたり活動をしてきた会員に向けた優良会員表彰や、同センターを支えた役員への役員表彰、様々な活動で協力を得た企業や個人に協力者感謝状が贈られました。

10周年を迎えて小森理事長は、「これからも高齢者の皆さんの生きがいづくりと、高齢者が元気に活躍することにより、地域社会の活性化に大きく貢献できるように取り組んでいきたい」とあいさつしました。

式典後には、記念講演として、

上…「愉快な方言の話」を披露した嶋均三さん／下…シルバー会員などが出席した10周年記念式典。



大田原市出身で方言作家の嶋均三さんによる「愉快な方言の話」が披露され、テンポの良い栃木なまりのトークに会場が沸き上がりました。

市社会福祉振興大会

地域のこれからを考えよう

市社会福祉協議会による「第12回那須烏山市社会福祉振興大会」が、2月25日（土）南那須公民館で開かれ、福祉関係者や地域住民など約150人が参加しました。

式典では、同協議会の丸山眞一会長が、「地域に住むすべての人が尊重し合い、人生を謳歌できる地域福祉づくりを目指していききたい」とあいさつ。続く表彰式では、福祉の分野で活躍した35の個人・団体に丸山会長から表彰状や感謝状が贈られました。



上：福祉の分野で活躍した個人や団体に表彰状が手渡された表彰式／下：様々な提案がされた講演会。

その後、記念行事として、「これからの地域福祉はどうあるべきか」をテーマに、国際医療福祉大学の林和美准教授を講師に迎え、講演会が開かれました。講演では、林准教授が専門とする高齢者福祉や地域支援ネットワークなどの視点から、「これからの那須烏山市は、見守り体制の充実や生活支援サービスの開発、担い手の発掘などが重要なのでは」と様々な提案がされ、参加者にとって地域福祉を考える良い機会となりました。

元気あつぷ市民のつどい

～笑いの力で健康に～



市政懇談会が開かれました。

市では、地域住民の様々な意見を市政に反映させる市民参加の場として、自治会主催による「市政懇談会」を開いています。



今年度は、1月27日(金)に烏山城カントリー

境地区自治会市政懇談会。

クラブを会場として七合地区自治会連合会、2月17日(金)に旧境保育園で境地区自治会の懇談会が開かれ、大谷範雄市長や国井豊副市長、田代和義教育長、各課局長のほか、各自治会の住民が参加しました。

それぞれの懇談会では、道路整備や道の駅の整備、災害対策などの意見が出され、それぞれの要望に対し、大谷市長が一つひとつ丁寧に説明を行いました。

事業所の説明や面接が行われた会場。



市地域雇用創造協議会では、ハローワーク那須烏山と共催で

合同就職説明会・面接会 那須烏山市で働こう！

「那須烏山市合同就職説明会・面接会」を2月21日(火)、風月カントリー倶楽部で開催しました。

この事業は、雇用機会が不足している地域において、自治体や地域の関係者の創意工夫や発想を活かして雇用を創出する「実践型地域雇用創造事業」の一環で、ハローワーク那須烏山や各企業と連携しながら本市の雇用情報・企業情報を提供し、求職者が市内事業所等へ就職する機会を提供しています。求職者にとっては、参加することで複数の

「那須烏山市合同就職説明会・面接会」を2月21日(火)、風月カントリー倶楽部で開催しました。この事業は、雇用機会が不足している地域において、自治体や地域の関係者の創意工夫や発想を活かして雇用を創出する「実践型地域雇用創造事業」の一環で、ハローワーク那須烏山や各企業と連携しながら本市の雇用情報・企業情報を提供し、求職者が市内事業所等へ就職する機会を提供しています。求職者にとっては、参加することで複数の

平成25年度に初めて開催してから6回目の開催となり、回を重ねるごとに参加事業所は増え、今回は市内の製造業や運送業、介護事業など21事業所が参加。当日は31人の求職者が事業所の説明を受け、採用担当者や面接をするなど熱心に就職活動を行い、地域の雇用創出を図りました。



健康アーティストの己抄呼さん。

2月22日(水)、「那須烏山市こころを元気にする日」に合わせ、市と市健康づくり推進協議会による「第10回なすからすやま元氣あつぷ市民のつど

い」が南那須公民館で開かれ、地域住民103人が笑いをとおして健康法を学びました。

このイベントは、誰もが心の健康や心の病気への関心を持ち「元氣なこころをつくること」で自殺予防を普及していくことを目的に毎年開かれていくものです。

当日は、スポーツアスリートの指導や健康エクササイズの開発などでも手掛ける健康アーティストでスポーツエクササイズデザイナーの己抄呼(Misako)さんを講師に、「笑

う体操」と題した講演が行われました。「健康のためには体中の血液を循環させることと関節をほぐすことが大切」と話す己抄呼さん。ユーモアたっぷりの話術を交えながら、手や腕など身体を使った動きで血流を良くする運動や頭の体操などが指導され、笑いが絶えない講演となりました。

■3月は自殺予防強化月間です！
春は進学や転職などの環境の変化が要因となり、こころの調子を崩しやすい時期です。眠れない、憂うつな気分が続く、食欲がない、人に会いたくないなどの症状がある場合は、一人で悩まず相談してみませんか？
【電話：来所相談】
・栃木県精神保健福祉センター
☎028-673-8785
・栃木県烏山健康福祉センター
☎0287-82-2031
・那須烏山市健康福祉課
☎0287-88-7115



笑う体操を実践する参加者。

市内の文化財を知ろう！

文化財めぐりで地域の歴史をたどる



大田原氏累代の墓碑を見学する参加者。

市では、平成27年に刊行した「那須烏山市の文化財」をテキストに、市内の仏像や史跡などの指定文化財をめぐる「文化財めぐり」を2月18日(土)に開きました。

当日は、市有バスを利用し、見学地へ向かった16人の参加者は、善念寺の「木造阿弥陀如来立像」や、西光寺の「木造薬師如来坐像」、十二神将像「芳朝寺の「木造薬師如来

立像、大田原氏累代の墓碑」を見学。見学地では、市文化振興課の職員から仏像が作られた時代の様子などが説明されました。

参加者は、普段見ることのできない県・市指定の文化財を間近で見ることができ、平安や鎌倉時代の緻密な仏像の彫り方に興味津々の様子でした。

こども常磐津教室発表会 日頃の練習の成果を発表

今年で6回目となる山あげ保存会芸能部会による「こども常磐津教室発表会」が、1月29日(日)に烏山

が見守る中、日頃の練習の成果を発表しました。

同教室は、文化庁の伝統文化親



烏山山あげ保存会芸能部会による「子宝三番叟」。

烏山の山あげ行事と 鹿沼今宮神社祭の屋台行事

2月5日(日)、那須烏山市の「烏山の山あげ行事」と鹿沼市の「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを

ユネスコ登録記念講演会を開催

記念し、地域文化活用促進協議会、両市による「登録記念講演会」が、鹿沼市民文化センターで開かれました。

当日は、全国山・鉾・屋台保存連合会参事の菊池健策さんを講師に迎え、「山・鉾・屋台行事のユネスコ無形文化遺産代表リスト記載の意義」をテーマとした講演会が行われました。講演の中で菊池さんは、「ユネスコ無形文化遺産登録の意義とは、守っていないとなくなってしまうのはもちろん、地域の人々や祭りを支える人そのものを表す」と語りかけました。

講演後には、舞台公演として、鹿



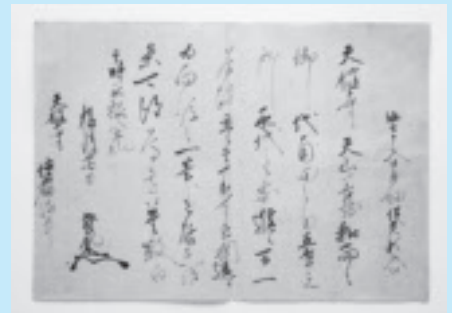
菊池さんによる講演会。

沼工業組合・若衆会による「木遣り」や、烏山山あげ保存会芸能部会による「子宝三番叟」、鹿沼屋台囃子保存会による「鹿沼屋台囃子」が披露され、会場に集まった大勢の人々に、両市の伝統文化を広くPRする機会となりました。

シリーズ 市の文化財 第71回

市指定有形文化財(歴史資料)

中世文書(8点)



天性寺に伝世する古文書で、中世を通じて那須地方の領主であった那須氏に関わるものです。いずれも天性寺宛ての書状(寄進状・由來書)で、戦国時代後期(16世紀)の那須氏の当主名、その室、家臣名などが確認できます。

天性寺は、那須与一宗隆の法号を院号とするなど、鎌倉時代初期(12世紀)の創建時から那須氏との繋がりが大変深い寺院です。これらの古文書は、そのことを裏付ける資料であるとともに、戦国時代における那須地方の情勢を窺い知ることが出来る貴重な歴史資料です。



烏山保育園で 発表会

2月24日(金)、烏山保育園では、幼児組発表会が開かれ、大勢の保護者が見守る中、園児たちは、歌や合奏、お遊戯、劇など練習の成果を発表しました。

5歳児クラスの発表では、毎年恒例の劇「月のうさぎ」が披露され、感動的な結末と迫真の演技に目を潤ませる保護者の姿も見られました。



三味線を披露する子どもたちと保護者。

公民館で開かれ、同教室に通う小・中学生や保護者14人が、地域住民

子教室事業の助成により、本市出身の常磐津紫摩さんの指導のもと、地元の子どもたちを中心に開いているもので、山あげ祭や八溝そば街道そばまつりなどにも出演しています。

当日は、三味線や浄瑠璃により、童謡「かめかごめ」や「しゃぼん玉」、山あげ祭でお馴染みの「将門」、「戻橋」など8演目を披露しました。

栃木県文化財保護審議会会長の齊藤弘江さんによる講評では、「子どもたちだけで山あげの舞台上がるのも遠くはない」と期待の声が寄せられました。

夢の教室



夢先生の永井さんとゲームをする児童。

夢先生は元サッカー選手 諦めない気持ちで育む

市教育委員会では毎年、市内全小学校の5年生を対象に「夢の教室」を開いています。この教室は、日本サッカー協会(JFA)の「JFA Aこころプロジェクト」の一環として、現役のJリーグ選手やなどしこリーグ選手、他種目の現役選手、OB・OGを「夢先生」として、小学校に派遣し、「夢を持つことの

素晴らしさ」や、「それに向かって努力することの大切さ」、「失敗や挫折に負けない心の強さ」を子どもたちに伝える活動です。

2月6日(月)に江川小学校で開か

れた夢の教室には、夢先生として、元サッカー選手の永井健太さんが訪れました。教室では、グループで一つの目標を達成するゲームを行ったほか、サッカー選手になりたいという夢を持ったきっかけや、小さい頃から夢を掴むまでの話などが語られました。

同校5年の永野凜太さん(月次)と鈴木連さん(志鳥は、「話し合っ

烏山南公民館で親子そば打ち教室

2月18日(日)、公民館事業の一環として、烏山南公民館で初めての開催となる「親子そば打ち教室」が開かれ、市内在住の親子9人がそば打ちに挑戦しました。

当日は、講師として同公民館長の鈴木初男さんを迎え、そば打ちで重要な水回しや練る作業、切り方などが参加者へ伝授されました。子どもたちは、苦戦しながらも保護者と協力し、小さな手で一生懸命にそばを完成させ

ました。途中には、手打ちそばの試食も行われ、そばの食感や香りを楽しみました。

おばあちゃんと参加したという烏山小3年の高根沢珠莉さん(野上は、「楽しみで今日はいつともより早起きをした。練る作業が難しかったけれど、おばあちゃんと協力して上手にできて良かった」と笑顔を



そば打ちに挑戦する親子。



鬼面に向かって矢が放たれた鳴弦。

1年の無病息災を願って 八雲神社で節分行事「追儺祭」

2月4日(土)、八雲神社で恒例の節分行事「追儺祭」が行われ、境内は一年の福を求めて無病息災を願う大勢の参拝客でにぎわいました。

「追儺」とは、悪い鬼や疫病などの厄を払い、福を迎える儀式。同神社の年間行事の一つで、毎年、その年の山あげ祭の当番町が中心となって行われています。

今年は、仲町によって行事が仕切られました。

当日は、厄除けや開運祈願などの神事、鬼面に向かって矢を放つ鳴弦が行われました。その後、今年の年男年女らによるお菓子やおひねりなどの縁起物をまく「がらまき」が行われ、参拝客は福を授かるうと懸命に手を伸ばしていました。

▶大黒天と一緒に。
▼楽しい楽しい発表会。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

烏山語りの会といかんべ民話の会 「那須烏山の民話」を出版

2月1日(水)、市観光協会から、市内に昔から伝わる民話40話が収録された「那須烏山の民話」が発行されました。

これは、烏山地区で活動する「烏山語りの会」と南那須地区で活動する「いかんべ民話の会」の会員が、新市合併10周年を機に完成させたものです。両会では、合併前に「野州からすやまの民話」や「広報みなみなす」などで地域に伝わる民話を紹介していました。

今回出版された「那須烏山の民話」では、過去に出版され

キャンナス烏山 キャンからカフェでお悩み相談

全国訪問ボランティアナースの会「キャンナス」の支部組織「キャンナス烏山 横山孝子代表」が開いている「キャンからカフェ」が話題を呼んでいます。

同組織は、要介護者の旅行の付き添いや生活相談など介護保険制度で対象外となっている支援ニーズに対応するために活動するグループ。県内では、本市と宇都宮市で開設されています。

キャンナス烏山が独自で行う「キャンからカフェ」では、介護などの相談に関わらず、子育て

や日常の不安などを自由に相談できることが特徴。「できることから」をコンセプトに、組織間でできないことは、専門機関へと橋渡しする役割も果たします。

1月28日(土)には、NPO法人野うさぎクラブと合同で2回目の「キャンからカフェ」が、横山代表は、「今後、地域の公民館やイベントなどに出向いて、悩みを打ち明ける場所づくりを積極的に展開していきたい」と話していました。



アットホームな雰囲気のカフェ。
キャンからカフェ。



碧音さん(左)、愛莉さん(右)。

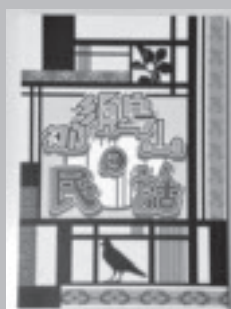
塩野目愛莉さん・碧音さん
姉妹そろって全国大会へ出場

那珂川町で活動するソフトボールチーム「馬頭ウイング」に所属する烏山小3年の塩野目愛莉さん、1年の碧音さん姉妹(初音)が、3月26日(日)から28日(火)にかけて神奈川県で開かれる「第10回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」に出場します。先に行われた予選となる県大会では、決勝戦で那須町のチーム「黒田原フレンズ」に4対2で敗れ準優勝と惜しい結果となりましたが、全国大会への出場枠を掴み取りました。

姉妹は、もともと那須烏山ソフトボールスポーツ少年団に所属していましたが、団員数減少のため活動休止状態となり、現在のチームに移籍。高学年の選手が主体となる中、見事レギュラーとしてベンチ入りを果たしました。

チームの練習に加えて、父・一浩さんとの自主練習も日々欠かさないという2人。大会に向けて、愛莉さんは、「ヒットを打ち、得点につなげたい」と話し、碧音さんは、「優勝できるように大きな声で応援したい」と目標を話してくれました。

那須烏山の民話。



のも関係者の皆さんのお陰。民話を通じて、市の魅力を再認識し、郷土愛を育んでもらえれば」と話していました。

民話本は、山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設で販売されています。

ご自由にどうぞ！

まちなかの無料休憩所が話題

南1丁目の菓子工房シマダヤの無料のお休み処「白露」が地域で話題になっています。これは、店主の樋山隆さんが、社会貢献活動の一環として、那須烏山市を観光などで訪れた人の休憩所として利用してほしいという思いから菓子店とは別に建設。昨年12月中旬から開放し、クチコミで徐々に利用者が増えています。建物は、木造テラス付き。開放感のある室内には、イスやテーブルなどもあり、休日になると多くの観光客が立ち寄るといいます。

樋山さんは、「街中の商店街がシャッター通りになって行く一方で、どうにかまちが盛り上がりたと思った。観光客だけでなく、地域の皆さんにもぜひ利用してほしい」と話していました。

休憩所は、午前8時から午後7時まで。無料で利用することができます。



無料休憩所「白露」。



南2丁目の橋本由紀子さん
NHK全国俳句大会で選者特選を受賞

南2丁目の橋本由紀子さんが、1月22日(日)に東京都のNHKホールで開かれた「第18回NHK全国俳句大会」で、大賞に次ぐ選者特選を受賞しました。同大会の一般部の応募は約4万3000人。その中から、特選に選ばれたのは45人と競争率が高いなかでの受賞となりました。

橋本さんは、8年前に市内で開かれた講座に参加したことがきっかけで俳句に興味をもち、現在では、市内の同人誌「こたち」の同人として俳句づくりを楽しんでいます。

「思ったことや感じたことを素直な文章で詠むこと」を大切にしているという橋本さん。昨年は、「伊藤園のお茶新俳句大賞」の都道府県賞、その前の年には、県俳句作家協会賞、3年前に本市で開催された「ねんりんピック俳句交流大会」では、正、准賞などを受賞しています。

今大会では、大病の経験から生まれた作品「献体の覚悟決めたり虎落笛」が、世のために献体を決めた覚悟が表現されていると評価され、特選の受賞へと至りました。

橋本さんは、「良い句ができれば来年も投句したい」と笑顔をみせていました。



選者特選を受賞した橋本さん。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 星 雅(雅宏・文香)旭2丁目
 皆川 希(聖哉・利沙)初音
 荒井 月(亨・聖紀)神長
 荒井 大知(貴雄・幸菜)滝田
 鈴木 凛(研人・さおり)谷浅見
 堀井 千裕(義和・裕絵)三箇

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第18回塩那小学生柔道練成大会

(1月29日(日) 県北体育館武道場)

「小学3年生の部」▽準優勝…木島弥麻人(南那須柔道スポーツ少年団)

「小学4年生男子2組の部」

▽優勝…木村南風(習励館大橋道場)

▽準優勝…古澤伊吹(習励館大橋道場)

「ふるさと応援寄附金」★

■ふるさと応援寄附金

・湊明彦様(福岡県田川郡添田町)、片岡一男様(東京都練馬区)から1万円が本市に寄附されました。

・奥茂宏行様(神奈川県横浜)、宇梶和雄様(千葉県千葉市)から2万円が本市に寄附されました。

・匿名希望者様16人から20万円が本市に寄附されました。

■市奨学基金寄附金

・鳥山学生寮OB有志一同様より3万2211円が本市に寄附されました。

広報担当者からの★お知らせ★

■「広報なすからすやま」広報お知らせ版は市内のスーパーやコンビニでも手に入ります！

市では、自治会未加入家庭や新聞を取っていない家庭もあることから、もっと気軽に本市の情報を知っていただくため、公共施設のほか、市内のスーパーマーケットやコンビニエンス

ストア12店舗に広報紙を設置しています。ぜひご利用ください。

◎設置店舗…かましん大金店、スーパーさぎや、ベイシア鳥山店、たいらやエリス鳥山店、セブンイレブン(鳥山中央店・鳥山バイパス店・那須鳥山初音店・那須鳥山大金店)、ローソン(那須鳥山大桶店・那須鳥山旭1丁目東店)、ファミリーマート(こぶし台店・那須鳥山上川井店)

※平成29年2月末時点

表彰おめでとうございます！

■平成28年度「田んぼまわりの生きものマップコンテスト」

▽優秀賞…興野はたるの里づくり環境保全会(岡光一会長)

▶興野はたるの里づくり環境保全会と地域の子どもたちで制作した生きものマップ。



■第4回「税に関する絵はがきコンクール」

▽氏家税務署長賞…齊藤杏奈(鳥山小6年)

▽金賞…大鐘友里菜(鳥山小6年)

※なお、齊藤さんの作品は、県のコンクールへ推薦され、3位となりました。

▶齊藤さん(左)、大鐘さん(右)。



編集後記★



○3月のダイヤ改正に伴い、JR鳥山線のディーゼル気動車「キハ40形」が引退をしました。38年間、私たちの足として走り続けてきたキハ40形。引退イベントでは「ありがとう」という言葉とともに大勢の地域住民や鉄道ファンに見送られました。

○翌日からは、すべて蓄電池駆動電車「アキム」に切り替わったわけですが、アキムが引退する何十年後？かは、どんな電車になっているのだろうか？…もしかしたら浮いた状態で走っているかも？…(↑ただの広報担当者の妄想です)そうなる前に、アキムにまだ乗っていない人は、キハ40形とはまた違った良さが発見できるはず！たまには電車の旅もいいですよ！ぜひご乗車ください☆

○そして、今月号では「女性消防団」についてもご紹介しました。女性ならではの視点で活躍する皆さんは、同じ女性から見ても、キラキラしていかっついかなと思います。

○そういえば、いこのS君。幼稚園を卒園する時に、「将来の夢は、パパみたいな消防団になること」って言ってたっけ。今年、成人を迎えたので、改めて聞いてみようと思います。



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『「安い食べ物」には何かがある』 南 清貴
『主菜別献立がすぐ決まる副菜レシピ帖』 堤 人美
『総力取材！トランプ政権と日本』 NHK取材班
『AIが同僚』 日経トップリーダー
『知性の磨き方』 齋藤 孝
『野良猫を尊敬した日』 穂村 弘
『山猫珈琲 下巻』 湊 かなえ
『不時着する流星たち』 小川 洋子
『墨龍賦』 葉室 麟
『人生の踏絵』 遠藤 周作

★児童図書★

『モノのはじまりえほん』 荒俣 宏
『庭のたからもの』 大野 八生
『教科書にでてくる音楽家の伝記』 ひの まどか

『命の意味命のしるし』 上橋 菜穂子
『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』 河出書房新社
『きょうはやきにく』 いとう みく
『たまごにちゃんとたまごねえちゃん』 あきやま ただし
『かぞくになって！』 ヒラリー ロビンソン

★DVD★

『オオカミ少女と黒王子』 廣木 隆一監督
『僕だけがない街』 平川 雄一朗監督
『クリーピー 偽りの隣人』 黒沢 清監督
『スノーホワイト 氷の王国』 セドリック・ニコラス・トロイア監督
『選挙の勝ち方教えます』 デヴィッド・ゴートン・グリーン監督
『シュレック』 アンドリュー・アダムソン監督
『ライオン・キング』 ロジャー・アラーズ監督
『スティッチと砂の惑星』 麦野 アイス監督

2017.2.1現在
()対前月比

人口 26,489(-61)

男 13,093 女 13,396

出生 12 死亡 52

転入 42 転出 63

世帯数 9,402

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー★

俳句

齋藤 穂 選

狐火を見ぬまま姫逝きにけり

伊東 澄子(中央)

五箇山の闇うるはしき銀世界

川俣登志子(旭)

梅一輪嫁ぐ娘のベール縫ふ

古内 晴代(金井)

春つらつらと佇うさぎのけものみち

伊藤 博志(田野倉)

川柳

篠崎 酔月 選

噂など洗い流して今を生き

萩原 宣子(中央)

お留守番猫と炬燵で会話する

久郷 牛歩(高瀬)

空き家にも穏やかにさす陽の光

南 美保子(福岡)

踏み出した一步にあった泣き笑い

小堀 翠泉(中央)

短歌

福澤 悦子 選

健康は金では買えない宝なり新春の朝ウオーキングに出ず

矢口 玄鳥(大金)

寒風をうけ郵便局の昇り旗寄せ来るさざ波のごとくはためく

川手 トヨ(金井)

病弱の身に配食サービス二十余年「ありがと」の言葉に励まされつつ

三森 純子(中央)

「青垣」の短歌見たよと電話あり 友の早口昔のままに

柳 つしま(中央)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

広告掲載募集中

■掲載基準

位置…各ページの最下段(表紙除く)

サイズ…縦4.7cm×横8.4cm

料金…単色 1回5千円

カラー1回1万円(裏表紙)

申込…掲載希望の前月10日まで

詳しくは、総合政策課広報統計

グループ ☎0287-83-1112 ま

でお問い合わせください。

なお、「広報お知らせ版」への広

告掲載や、市ホームページへのバ

ナー広告掲載も同時に募集してい

ます。

足利銀行(南那須)さん後ろ 中学生対象の補習系学習塾

歩-Ayumi-塾

☆入塾金 0円! 新1,2年生は初月の授業料 0円!

☆新3年生は初月の授業料 半額!

☆無料体験もあるので、まずはお電話を!

「チラシを見た」とご連絡下さい

☎090-5423-4499(代表者:佐藤 諒)

シリーズ

鳥山高校ってこんなところ！部活動を知ろう編⑫

アーチエリー部

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



アーチエリー部は県内でも3校しかない珍しい部活動。鳥山高校では、現在9人の部員が所属しています。高校から始めた生徒ばかりですが、外部コーチで国体の監督経験もある水井雅人さんに指導を受け、日々練習を重ねています。今年度の大会では、第35回関東高等学校アーチエリー選抜大会に男女とも個人で出場。昨年度には、全国高校総体（インターハイ）に男女とも個人・団体で出場し、女子個人では全国ベスト16の成績も残しています。

目標は、「インターハイに男女で個人・団体ともに出場すること」。今年度逃してしまった出場枠を取り戻すために、鳥山高校アーチエリー部の戦いが始まっています。



2年（さくら市）
部長 野崎春世さん

アーチエリーは、まだまだ競技人口も少なく、高校生から始めても、練習を積み重ねれば、関東や全国でも成績を残せる競技です。高校選びや部活動選びで迷っている皆さん、私たちと一緒に全国大会に行きましょう！

美味しい「いちご」ごちそうさま！

七合小で生産者との交流給食

1月25日（木）、七合小学校で生産者との交流給食が行われました。

この交流給食は、食への関心を支える農の役割を子どもたちに感じてもらうとうと、JAが取り組む「地元特産品を利用した食育応援事業」の一環として、JAなす南のいちご部会が市内小・中学校の学校給食にいちご「とちおとめ」を提供したのがきっかけ。提供されたいちごは、約32キログラムで、当日は「ヨー



上…七合小で行われた交流給食／下…市にいちごを贈呈する那須南農業協同組合長といちご部会の生産者。

グルトあえ」として、給食に登場しました。

同小学校に訪れたいちご部会の五十嵐可行さんは、「交流給食をとおして、生産者が安心・安全なものを作っているということを知ってほしい」とあいさつ。また、同校4年の田島雅也さん（谷浅見）は、「いちごは甘酸っぱくて美味しかった。特別な気分になった」と笑みを見せていました。